

ハチの巣駆除について

毎年夏から秋にかけて、人がハチに刺される事故が起き、死亡するケースも起きているため、ハチに対して怖いイメージを持たれている方も多いと思います。

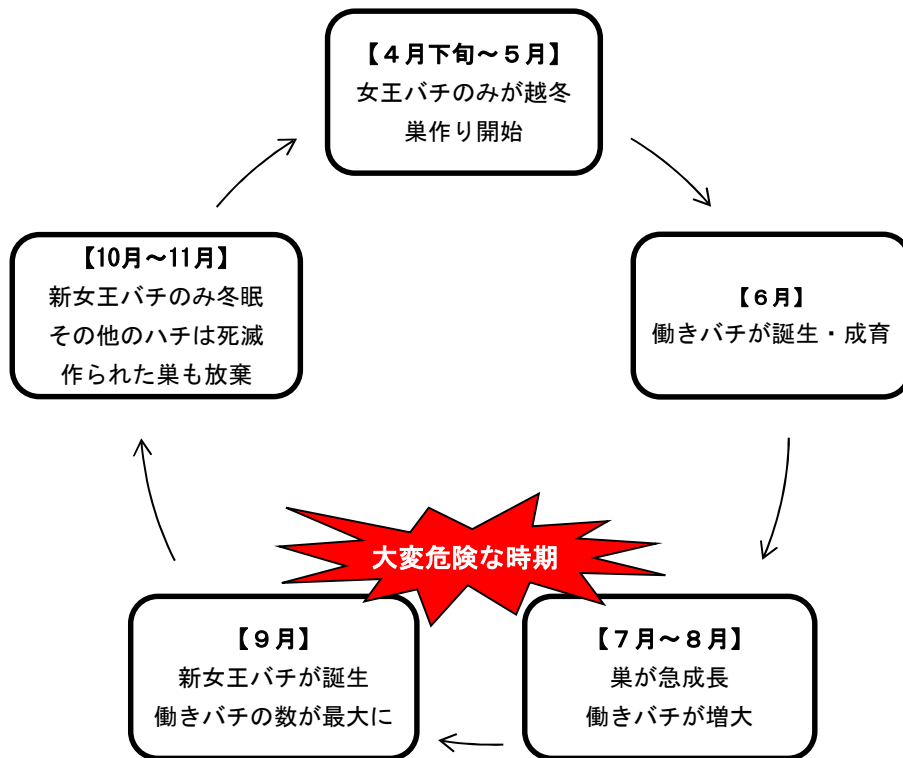
しかし、ハチの種類によっては人に利益をもたらす「益虫」でもあります。庭の草木に付くイモムシや毛虫、農作物や葉を食い荒らす害虫などを捕食してくれたり、ミツバチにおいては花粉を運んで受粉をさせることで農作物の生産や植物の繁殖に大きく貢献してくれています。

そのため、人の近付かない場所に巣ができている場合は、むやみに巣を駆除する必要はありません。

ただし、住宅の軒下や庭の木々など人が近づく場所に巣を作られてしまった場合は、刺される危険性がありますので駆除が必要です！



ハチの活動サイクル



巣作り始めは女王バチしかいないので、最初の小さな働きバチが羽化するまで1ヶ月～1ヶ月半の間は、巣作り、産卵、育児、外的防御を1匹で行っています。6月から7月にかけて働きバチが誕生、成長していくとともに巣もどんどん大きくなり、ハチの動きも活発化していきます。

巣は9月頃最大の大きさになりますが、気温が低くなるにつれて働きバチは全て死んでしまいます。巣の中で誕生した新女王バチだけが朽木や土の中に入り込んで越冬し、また春先から巣作りを始めます。この年に作られた巣は、翌年に使われることはありません。

ハチの巣を見つけたら

- 巣が小さいうちに駆除しましょう。
(巣が小さいうちは市販のハチ専用の殺虫剤を使用し、駆除することができます。)
- 巣が大きくなっていて危険性が高い場合は、決して自力で駆除しようとせず、専門業者に駆除を依頼しましょう。



ハチから身を守るために

- 淡い色・白系の洋服や帽子を着用しましょう。
- 強い香りのもの(香水や香りの強い化粧品など)をつけないようにしましょう。
- 食べ物や飲み物の残り物は放置せずに片付けましょう。
- できるだけ肌が見えないような服装(長袖・長ズボン)をしましょう。



ハチに刺されてしまったら

- その場から素早く安全な場所へ避難しましょう(むやみに手や衣服で振り払うとハチを刺激し、集団で襲ってくる恐れがあるのでやめましょう)
 - 刺された傷口を指などで押さえて毒液を外へ出してあげましょう(その間、きれいな水で洗い流しながら行くと効果的)
 - 刺された傷口に薬を塗って濡れたタオルなどで冷やし、医療機関を受診しましょう
- ⚠️ 呼吸困難や意識がもうろうとしている場合は迷わず救急車を呼びましょう!**

ハチの巣の駆除について

- 市では、私有地や事業所内にできたハチの巣の駆除を行っておりません。土地・建物の管理責任者において駆除をお願いします。ご自身で駆除するのが難しい場合などは業者へ直接依頼してください(料金についても業者へお問い合わせ願います。駆除料金は全額自己負担となります)。 ※ただし、市有地や空き家(空き地)にできたハチの巣を発見したときは、環境生活課環境・生活安全係までご連絡ください。

【市内のハチの巣駆除業者】

- ・(株)カンリ (名寄市風連町北栄町 78 番地 5) 電話: 01655-3-4113
- ・(有)ティーエスサービス (名寄市風連町大町 30 番地 3) 電話: 01655-3-4353

名寄市役所 環境生活課環境・生活安全係
(名寄市役所名寄庁舎 1 階 3 番窓口)
電話 01654-3-2111 (内線 3122)

